

モルドバ月報

2022年1月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年2月1日 在モルドバ大使館

【主な出来事】

- 13日、国家公衆衛生緊急委員会は、公衆衛生緊急事態の3月15日までの延長を決定した。
- 19日、オレグ・セブレリアンが統一担当の新副首相に就任した。

1. 内政

● 再統一担当新副首相の就任

19日、オレグ・セブレリアンが統一担当の新副首相に就任した。

● 各党支持率

26日、iDataによる各党支持率及び信頼できる政治家に関する世論調査結果、以下のとおり。

【各党支持率】

行動と連帯党（PAS）：25.5%

社会党（PSRM）：16.8%

「尊厳と真実」党（DA）：3.5%

共産党（PCRМ）：2.9%

【信頼できる政治家】

マイア・サンドゥ：24.2%

イゴル・ドドン：13.2%

イラン・ショール：7.5%

マリナ・タウベル：1.5%

ヴラディミル・ヴォローニン：3.2%

コロナ関連

● オミクロン株、初の検出

11日、初めて行われたゲノム検査結果が発表され、16のオミクロン株が確認された。

● 公衆衛生緊急事態の延長（3月15日まで）

13日、国家公衆衛生緊急委員会は、1月15日までとなっている公衆衛生緊急事態の3月15日までの延長を決定した。

● 新たな規制の導入（1月22日から2月20日まで）

20日、国家公衆衛生緊急委員会は、1月22日から2月20日まで、モルドバ全土を対象に自治体の人口毎の新規感染者数にかかわらず、同じ規制を導入した。教育機関は1月24日から2月4日までオンラインとなった。

● 31日現在の国内感染者累計38.3万人

31日時点の国内における新型コロナウイルス感染者数は累計382,698人。死者は10,642人。

2. 外政

● ルーマニア政府による飲料水支援の決定

5日、ルーマニア政府とモルドバ政府はヤシ（ルーマニア北東部の都市）からモルドバの4地域に飲料水を供給する水路を建設する合意書に署名した。本プロジェクトにより25万人のモルドバ国民が裨益する。

● コソボ KFOR ミッションの派遣

6日、コソボのKFOR ミッションに40名の隊員が派遣された。コソボへの平和維持軍はこれが16回目。

● ポバスク外務・欧州統合相と NATO 事務次長の電話会談

10日、ポバスク外務・欧州統合相はジョアナ NATO 事務次長と電話で会談し、欧州・ロシア関係、モルドバ・ロシア関係、モルドバ・NATO 関係について議論した。

- **ポベスク外務・欧州統合相のブリュッセル訪問**

(1) 24日、ブリュッセルを訪問したポベスク外務・欧州統合相はストルテンベルグ NATO 事務総長と会談し、モルドバの領土一体性への NATO からの支援に謝意表明し、地域の緊張緩和の重要性について協議した。また、同外相は、ジョアナ NATO 事務次長とも会談し、モルドバ・NATO のパートナーシップのための行動計画 2022-23 に沿った具体的行動計画について話し合った。

(2) 同外相は、EU 外交委員会委員長、ムレシャン・モルドバ・EU 議会連合共同議長等とも面会した。

- **サンドゥ大統領と OSCE 高等弁務官（マイノリティー担当）との会談**

24日、サンドゥ大統領は、Abdrakhmanov OSCE 高等弁務官（マイノリティー担当）と会談し、社会統合がモルドバの優先事項の一つである旨述べた。

- **サンドゥ大統領及びグロス議会議長のリトアニア議会議長との会談**

25日、サンドゥ大統領及びグロス議会議長は、モルドバを訪問した Cmilyte-Nielsen リトアニア議会議長とそれぞれ面会し、地域の安全保障、エネルギー危機、司法改革、フェイクニュース対策等について議論した。

トランスニストリア関連

- **露外務省副大臣によるモルドバ当局への対話要求**

2日、ルデンコ露外務省副大臣は、去年のモルドバ要人の訪露実績を例にあげ、モルドバ側の対話強化の姿勢は評価するとしつつ、トランスニストリア紛争解決のための対話に向けたキシノウ側の建設的なアプローチを求めた他、5 + 2 プロセス再開を求めるトランスニストリア当局のイニシアティブに応えるよう求めた。

- **NATO 事務総長によるモルドバからの露軍撤退呼びかけ**

12日、ストルテンベルグ NATO 事務総長は、ロシア・NATO 間の協議において、ジョージア、ウクライナ、モルドバに駐留するロシア軍の撤退をロシアに要求した。同事務総長は、26日の記者会見でも同様の要求を行った。

- **セレブリアン副首相（再統一担当）とトランスニストリア政治代表との初面会**

27日、セレブリアン副首相（再統一担当）及び Ignatiev トランスニストリア政治代表が初めて会合を実施。オンライン形式で 5 + 2 プロセスの仲介者と監視者の代表の出席も伴い、教育、人権、医療、農業、環境等の分野毎のワーキンググループを作ることで一致した。トランスニストリア側は輸送関連の問題、同地域への物資輸入に関心を示した。副首相はモルドバは 5 + 2 プロセスへの参加の用意がある、と発言した。

中国関連

- **駐モルドバ中国大使のオリンピック委員会訪問**

11日、モルドバ・オリンピック委員会を訪問した Wenbin 駐モルドバ中国大使は、ジュラフスキ・オリンピック委員会会長と面会し、北京冬季オリンピックへの抱負を語った。

- **駐モルドバ中国大使とポベスク外務・欧州統合相との面会**

19日、ポベスク外務・欧州統合相は Wenbin 新中国大使と面会し、両国の外交関係樹立 30 周年という文脈も含め、貿易協力の加速、ビジネス対話の奨励、経済ミッションの実施等について協議した。

- **駐モルドバ新中国大使による信任状捧呈**

26日、Wenbin 駐モルドバ新中国大使がサンドゥ大統領に信任状を捧呈し、その際に同大使は「この 30 年で両国の外交関係は安定的なペースで発展しており、現実的な協力関係が拡大した一方、両国間の政治的信頼関係も着実に強化されてきた。コロナ禍でも両国は伝統的な友好関係を反映して互いに支援し合った。今後も中国はモルドバと分野問わず協力する。」と述べたのに対し、サンドゥ大統領は「両国間関係、様々な分野における協力、及び中国による長きにわたる経済及び社会発展の対モルドバ支援に感謝する。特に、中国政府出資のクリウレニ発電所の案件は無事実施され、モルドバ国民に裨益している。両国間関係を新たなレベルに引き上げるため、モルドバは様々な分野での中国との交流及び協力のステップアップを希望する。」と述べた。

- **モルドバ・中国外交関係樹立 30 周年**

30日、モルドバと中国は外交関係 30 周年を迎え、サンドゥ大統領と習国家主席がメッセージ交換を行った。

3. 経済

- **シンクタンク、モルドバ経済 2022 年の主なリスクを公表**

2日、シンクタンク Expert-Grup はモルドバ経済が 2022 年に直面すると予想する 5 つの課題を公表した。

(1) 財政・人材・時間が限られた中で体系的な改革の前進。2023年は選挙があるため、2022年に必要であるが反発も大きい日雇い・インフォーマルな労働者、年金、最低賃金、土地行政、公務員給与、国営企業改革を進められる時期。

(2) 2022年には15%を超える予測のインフレ対策として、社会保障費に充てるための収入増。

(3) 2021年の急速な経済成長後の鈍化への対応。コロナ、世界レベルでのインフレの進行、ガス関連の不確実性は民間投資を弱め、公共投資も収入減と社会保障費増により影響を受ける。

(4) 新たなガス危機。ガस्पロムとの契約はあるがこれまでの債務と第3エネルギー・パッケージは未解決。

(5) 低いワクチン接種率とコロナ変異株。

• 12月の年間インフレ率13.94%

10日、国家統計局は、2021年12月時点の年間インフレ率が13.94%を記録したと発表した。内訳は、食品17.46%増、非食品12.06%増、サービス11.59%増が含まれる。

対先月比の平均消費者物価は1.66%上昇した。

• 2021年末の外貨準備増加

10日、2021年末の公的準備資産は39億ドルとなった旨報告された。これは、前年同期比で118.3百万ドル増。IMFから新プログラムの第1トランシェ79.8百万ドル、EUから68百万ドルの予算支援等が増加の理由。

• 2021年、年金平均142ドル/月

11日、国家社会保険院は、2022年1月1日において67万4,948人が年金受給者として登録され（前年同期比1万1,303人減）、平均受給額は月間2,578モルドバ・レイ（142ドル）、前年同期比474モルドバ・レイ（26ドル）増と発表した。

• 世銀、2022年GDP成長率3.9%と予測

12日、世銀はモルドバの2022年GDP成長率は3.9%の予測と公表した。IMFと政府は4.4%と予測している。モルドバの成長率は欧州・中央アジア地域平均3%を上回る予測。

• 2022～24年地域発展プロジェクトの優先事項を承認

12日、政府は15億モルドバ・レイ（83百万ドル）分の46の優先プロジェクトを承認した。費用は外部資金を含む国家地域発展基金から充てられる。優先プロジェクトには、ビジネス・インフラを活用することを目的とした「競争力」を高める14のプロジェクト、荒廃した土地の活性化のための6つの「都市開発」プロジェクト、「地域インフラ」のための26の上下水道プロジェクトが含まれている。

• 2021年11月貿易統計

17日、国家統計局は2021年1月～11月の輸出総額が28億ドル、対前年同期比25.4%増と発表した。同期の輸入総額は64億ドル、対前年同期比32.4%増。貿易赤字は36億ドル、38.5%増。

同年1月～11月までの日本への輸出は3百万ドル、前年同期比48%増。日本からの輸入は60百万ドル、22.5%増。

• 国立銀行、基本金利再度引き上げ

14日、国立銀行は、基本金利を8.5%（現行より2%増）にすることを決定した。家計の収入増及び消費者と住宅ローンの増加を背景に、エネルギーと食料の価格高騰により引き起こされたインフレに対抗することが目的。

• 韓国廃棄物リサイクル技術使節団の当地訪問

14日、ソウルより当地を訪問した韓国廃棄物リサイクル技術使節団は、モルドバ地方自治体協議会代表及びドング外務・欧州統合省次官と会談し、高温燃焼する新技術を紹介し、当地への投資の可能性について言及した。

• 天然ガス緊急事態宣言の発令

19日、モルドバ議会は、ガブリリツァ内閣が提案した国内全域を対象とする天然ガスに関する緊急事態宣言を60日間課すことを承認した。1月のガス購入価格の上昇（最大647米ドル/m³）により、露ガस्पロム社に対するモルドバガス社の1月の事前支払いが25百万米ドル不足したところ（当月の事前支払いは63百万米ドルのところ、38百万米ドルは支払い済み）、露ガस्पロム社はモルドバガス社の最大株主にも関わらず、モルドバガス社が期限内に支払わない場合はモルドバへのガス供給を止めると述べたため。本緊急事態宣言により、政府はモルドバガス社のガस्पロム社への支払いを1月及び2月、あるいは3月まで支援する。

- **エネルギー供給事業者、2つ以上の供給先からの購入必須へ**

19日、政府は、電力供給事業者は2つ以上の供給先から購入を必須とする法改正を承認した。

- **ドイツ自動車関連企業、モルドバ投資計画**

20日、ドイツ Purem by Eberspaecher GmbH 社はモルドバにて新規工場建設を検討のため、ガイブ経済大臣を訪問した。同社は世界28カ国80カ所に展開し、車両ヒーターや空調システム等を生産している。

- **2021年末の政府債務**

24日、2021年末の政府債務は777億レイ（43億ドル）、前年比99億レイ（5億ドル）増と発表された。

- **シンクタンク、2022年経済見通し**

25日、シンクタンク IDIS Viitorul は2022年経済の見通しを公表した。

(1) 2022年、60歳以上の人口（約60万2,000人）は18～35歳の人口（約57万1,200人）を上回り、経済にとって好ましくなく、この状況は向こう10年続く見込み。

(2) ガス価格は高いままで推移するが、エネルギー効率化プロジェクトは増える予測。

(3) 2021年の輸出は、農業と自動車部品により600百万ドル増加。同年輸入は、エネルギー及び消費財の価格高騰と消費増により20億ドル増加。2022年も輸出・輸入共に増加見込み。

- **1月1日より、ガス・暖房値上げ承認**

28日、国家エネルギー規制庁は1月1日より、ガス料金を税込11.01モルドバ・レイ（0.61ドル）/m³から15.18モルドバ・レイ（0.84ドル）/m³へ値上げ（モルドバガス社は15.59への値上げを要求していた）及び暖房料金を460モルドバ・レイ（25.9ドル）値上げた2,169モルドバ・レイ（119.7ドル）/gcalとすることを承認した。

- **2021年農業生産、前年比50%増**

31日、国家統計局は、2021年の農業生産が前年比49.9%と発表した。要因はシェア81%を占める植物生産の75.5%増。小麦、トウモロコシ、ひまわりの収穫が伸びた。シェア19%の動物生産は牛乳10%減、卵8%減を記録した。

4. 経済協力

- **EU委員会、対モルドバ・マクロ財政支援の提案承認**

4日、EU委員会は150百万ユーロを上限（30百万無償援助、他は中期融資）とする新たな対モルドバ・マクロ財政支援の提案を承認した。提案された支援は、2021年12月に承認されたIMF新規プログラムの順調な進展と覚書きで合意される政策の実施が条件となる。

- **EBRD、2022年モルドバ投資強化見込み**

18日～20日まで初めてモルドバを訪問しサンドゥ大統領等と面会したレナンド・バツソEBRD 総裁は、21日、2022年は対モルドバ投資強化を見込んでいる旨発表した。EBRDは2021年113.4百万ユーロの対モルドバ投資を実施している。

- **ルーマニアより100万ユーロ援助の契約を承認**

26日、政府は、ルーマニア政府と100万ユーロの援助を受ける契約への交渉と署名を承認した。本契約は7年間にわたり、エネルギー、運輸インフラ、気候変動対策、中小企業支援、マスメディア独立、公的機関改革、医療、教育、文化、研究、観光等幅広い分野におけるプロジェクトをカバーする。

- **世銀、水と衛生分野に44百万ユーロの融資承認**

31日、世銀取締役会はオーストリア開発庁が共同融資する対モルドバ水と衛生プロジェクト44.1百万ユーロの融資を承認した。農村で約6万6,500人が安全な飲料水と衛生サービスを受けられるようになる見込み。

5. トランスニストリア

- **2021年インフレ率7.35%**

18日、トランスニストリア統計局は、同地域における2021年のインフレ率が7.35%（2020年は1.45%）と発表した。内訳は、食品11.59%増、非食品6.18%増、サービス1.83%増が含まれる。

- **2021年工業生産統計**

31日、トランスニストリア統計局は、同地域の2021年の工業生産が前年同期比11.1%増で10億ドルに達したと発表した。金属及び電力生産が68%、繊維・軽産業が21%等。

6. 対日関係

• 日本とモルドバ、税関分野で相互支援

20日、片山大使とタルマザン税関庁長官は日・モルドバ税関相互支援協定に署名した。